５　自治会座談会の討論内容（全体集約）

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
活汲：運転できなくなったら困る。ぽっとの活動はよいこと（住民のことわかっている）。バス代のこと。若い人の就労の場。隣近所との付き合い。盆踊り（元気がもどった）。子供用品買えない。バス停まで歩けなくなる。高齢者の集う場が多い。市街地と格差があるのでは。先祖代々の土地（一緒に生きてきた仲間とずっと一緒に）。若い人の頑張と世代による価値観の変化。	●運転できなくなったら困る・・買い物、病院、手続き、外出の楽しみ減。移送サービス（利用者限られる。）	民	カケルくん（移動販売）。乗合タクシー。ボランティア移送。住民同士声かけあう。
		社	移送サービスの枠を拡げる。ドア to ドア移送。
		行	コミュニティバス。タクシー助成枠拡げる。
	●地域の集まりの必要性・・健康寿命伸ばしたい。人と人とのつながり。手助けできる。見守りの場。	民	65 歳以上になったらクラブ加入。若い人の集える場。声かけ。新しくできた場を発信する。
		社	サロン。ぽっと。介護者の会。
		行	100 歳体操
豊永４：サロン・元気まつりの活動（見守り、声かけできるようになった）。自治会独自の除雪サービス。地域医療（津別の安心守りたい）。有償ボランティアの良さがある。ゴミ分別大変（ゴミ出し配慮）。集まりに参加しない人への関りをどうする。健康づくりをどう取り組んだらよいか。制度が分かりにくい。民生委員の活動を PR。空家増えていく。	●地域のつながりを継続・・サロン・元気まつり～見守りの場、声かけ、元気の場。世代間交流で将来の担い手へ。自治会活動の継続が不安。	民	サロン・祭りの継続。隣組など小さな組織。
		社	開催協力・支援。住民とのつながり。研修制度～長く続けるため。
		行	補助金。PR。防災訓練。地域活動連絡員
	●参加してくれない人がいる・・どうして出てこれないか。自治会活動が衰退。安否が心配。高齢になり出てこれない。	民	世代間交流できる工夫。子供の参加。楽しい活動を PR。仲良く過ごせる地域活動。
		社	活動支援。PR。体力づくり。有償運送の拡大。
			施設利用しやすく（無料化）。公共の循環バス。
	●高齢者の一人暮らしが増えている・・安否。除雪。制度の周知が行き渡らない。足（移動手段）。	民	除雪隊の継続。新しいマンパワー（学生）。「登録制」による訪問支援。目的を持った訪問活動。
		社	生活支援コーディネーター。距離が近いニーズ把握。
		行	制度の周知～マンガとかわかりやすく。

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
		社	運行と必要者のマッチング。
		行	巡回運行車。有償運送の利用拡大。
	●地域のつながりが良い・・避難者名簿の作成（自治会見守り活動)。「身近な相談所ぽっと（安否確認の仕組み)」。後継者を作りたい。	民	見守り活動の継続。ふれあい。楽しく集まれる場を残せるよう。
		社	サロン支援。地域相談員。ぽっと活動の支援。見守り活動の支援。
		行	冬の間も運動機会。
	●制度を知らないことが多い・・知る手段（もったいない)。広報が読まれていない。	民	「自治会だより」でお知らせ・くらしのガイドを電話の近くに置く。
		社	
		行	読んでもらう工夫。カラー印刷。広報内でポイントを。
	●高齢者の一人暮らしの不安・・除雪（担い手不足)。夫婦世帯が一人になったとき（生活支援・心の支え、終活の心構え）	民	自治会で交代制で
		社	ボランティア～高校生除雪。最後をどう過ごすか、終活の勉強会。権利擁護。
		行	雪を寄せるスペース工夫。除雪機～大きいものを貸し出す。

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
緑町１・２・３：役員の担い手がいない。足の確保。高齢化・少子化。福祉のつどい等自治会の集まりがある。水がおいしい。カケルくんの巡回がある（２/W)。災害対策行動できた。災害が少ない地域。仲が良い。田舎の良さ。若い人との交流がない。タクシーの運転。除雪の心配。転入者の顔がわからない。通院（町外）大変。最後まで住みたいがサービスはあるのか。	●車がなくても生活できる・・買い物できる。通院できる。人との交流。外出の楽しさ。	民	宅配サービス利用
		行	買い物バスツアー。バスステップは低く。
	●病院に行けること（津別病院の存続）・・医療が大切。元気でいられるために。	民	救急車をすぐに呼ばない。コンビニ受診をしない。
		社	ヘルパー支援大切に（継続）。相談しやすいように。
		行	病院維持。地元の病院が大事と認識。早期発見
	●災害時の情報伝達ができる・・災害の備えが大切。	民	町民の声を聴く座談会は良い！！日頃のつながり。
		行	対策
	●除雪がうまくできること・・除雪ボランティアの継続。	民	除雪のルールづくり。部活生徒のボランティア。
		社	人活に頼りたい
		行	家の前に雪を置かないように
	●町民の顔（新しい人が分からない）	民	転入したら届ける。
		行	転入者への説明。
	●健康でぴんぴんころり・・元気で住みたい。	民	健診をうける。外出する。運動サロンの強度工夫。
		行	出張健診。みなし健診。学校でパーク・ゲートボールを体験（存続のために）。

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
旭町１・２・３：草刈りしない人がいて困る。回覧板が回ってこない。集まりをやってもいつも同じ顔ぶれ（自治会の集まり、サロンなど）。空家が多い。一人暮らしで心配。外出の足がない。一人何役も！！。 近所でお互いに除雪しあっている。新年会 90 人集まる（第 3）。コープのカケルくん。町外の病院に通っている。高齢化がどんどん進む。集まりの良い自治会がある一方、全然集まらないところも（団地の人の参加が少ない？）。病院もある！コンビニもある！。災害が少ない。空気も水もうまい。除雪が早い。	●買い物難民（この先自分で買い物に出かけられるか不安）。セイコーマート近くの横断歩道が怖い（青信号を待たずに斜め横断している）。	民	歩いて健康づくりに努める。カケルくんの使用。車道じゃなくて横断歩道を渡る。子どもにあいさつを！
		社	生活支援サポーター
		行	巡回バスの実施。足の確保・支援（金も！）。店がなくならないように考える。反射板の支給。信号機の増設。
	●見守り活動ができる。続ける。 ●安くてうまい子ども食堂を！	民	新年会の賄の人がいる。。元気に！！若い人・次の担い手に声をかける。
		社	余った大根をうけ。話をしてすぐに来てくれる。
		行	経営がマイナスだったら支援を。
	●御用聞きのようにまわってほしい（商工会を中心に仕組みをつくる）！	民	
		社	
		行	
	●町の中に集える場所があったらいい！	民	ジンバのような場所があるといい。雰囲気もいい。
		社	
		行	

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
共和：交通の便（免許返納後）～受診町外へ。バス停まで遠い。医療～地元に長くあるが（最近人が少ない。医療・看護サービスが。患者とのコミュニケーションがある）。災害時の情報伝達（スムーズに伝わらない～役場の方法限界がある。自治会で伝達するにも人手・高齢化・要援護者対応課題。地域のつながり（挨拶・顔見知り）	●交通の便～足の確保。受診、買い物～生活必需。有償運送～良い制度。長く続けていくには。市街地の足の確保。	民	隣近所の送迎を支えあい。お寺行事参加～できる仕組み。乗ってみて（ワゴン）意見を言う。
		社	福祉有償運送の継続。条件拡大。→自治会行事。時間外対応。
		行	バス券増やしてほしい（夫婦で使えるように）。待ち時間を工夫。コミュニティバス充実。
	●地域の支え合いの継続～生活支援サポート事業は良い制度。一人暮しの不安を解消。コミュニケーションできる場（元気で生き生きと暮らせるように）	民	サロン活動の継続・見守り・定期訪問。認知症介護予防。
		社	サポート養成。サロンの活動支援。
		行	対象者の拡大。周知。集いの場。
	●医療の確保・・企業病院～どうして減っているのか。	民	津別病院も PR や接遇改善を検討
		社	
		行	受診状況の分析・情報交換

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 29 日（活汲地域　自治会）1 グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
不安なこと ・車の運転ができなくなる。　・移動手段がない。 ・足が弱ってくる。　・子育て用品が売ってない。 ・一人暮らしが不安。　・足の確保。 ・近所づきあいが薄くなる。・病院医療の存続。 ・年金の不安 ・市街地から離れている ・情報が遅い ・買い物の選択肢がない ・食料 良いところ ・盆踊り、交流。 ・地域のつながり。	・買い物の選択肢がない　・移動手段がない ・食料　・病院医療の存続　・・子育て用品が売ってない 免許返納で自家用車に乗れなくなった時、買い物、病院、余暇活動ができなくなってくるため。	（住）民	グループ単位での地域による乗り合いシステム
		社協	有償運送の活用 ドアードア（介護度→高齢者）
		行政	公共交通の路線→自宅に近い場所の停車。
	・地域のつながり。 住み慣れた地域で知っている人との会話や相談など情報共有がしやすい。	（住）民	ぽっと、サロンの継続
		社協	介護者の会の開催
		行政	100 歳体操の継続

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 29 日（活汲地域　自治会）2 グループ

<table>
<tr><th>生活ニーズ
この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！
津別町の良いところも！</th><th>検討する項目</th><th colspan="2">解決する方策</th></tr>
<tr><td rowspan="7">（困っているところ）
■車の運転が出来なくなると、買い物ができなくなるし、病院に行くのも大変。
■バスが１時間に１本では不便
■バス代が結構かかる。
■店が無くなって、空き家も多くなった。
■移送の手段を考えてほしい。
（良いところ）
■ぽっとの中で認知症に方の把握や声掛けをしてくれている。
■ぽっとがあるおかげで、地域の方に声をかけやすい。
■若い人が中心になって盆踊りが再開され、盛り上がっている。
■消防の建物が新しくなった。
■地域の方がお互いに除雪を行っている。
■買い物はカケル君(生協)を使っている。
■農家の若い人が頑張ってくれている。</td><td rowspan="3">（課題）
■車が無いと買い物や病院に行きたいときに行けない。福祉有償運送も利用できる人が限られる。</td><td>（住）
民</td><td>■買い物はカケル君等を使う。
■乗合タクシーの検討</td></tr>
<tr><td>社
協</td><td>■ボランティアでの移送サービスを考える。
■現在の福祉有償運送の枠を広げる。</td></tr>
<tr><td>行
政</td><td>■コミュニティーバスの運行をしてもらう。
■タクシー代の助成の枠を広げる。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">（強み）
■サロン、老人クラブ等があるおかげで、地域の中でつながりができ、手助けできる環境が出来て健康寿命も長くなっている。</td><td>（住）
民</td><td>■65 歳以上になったらみんな老人クラブに入る。
■若い人の集う場所を作る。</td></tr>
<tr><td>社
協</td><td></td></tr>
<tr><td>行
政</td><td></td></tr>
</table>

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 29 日（活汲地域　自治会）3 グループ

<table>
<tr><th>生活ニーズ
この町で、暮らし続けていくために必要な
集まりやサービスを出しあおう！
津別町の良いところも！</th><th>検討する項目</th><th colspan="2">解決する方策</th></tr>
<tr><td rowspan="7">〇良いところ
・人とのつながりが厚い
・盆踊りがある。担い手が頑張ってくれた。
・ぽっと、100 歳体操、老人クラブ、サロンがある
・元気。年配の人が出てくれている
・見守り、見守られている（住民への声かけができている）
・北見、美幌が近い
・発想力、先輩の知恵がある
・子供のオムツ交換ができないお父さんはいない
・見習わなければいけない地域

〇不安なこと、心配なこと
・病院が近くにあると良い
・運転できなくなったときが心配
・活汲にもコミュニティバスを
・買物環境
・バス券足りない
・街中との格差を感じる</td><td rowspan="3">〇運転できなくなったときが心配、車を出してくれる人もいるが、いつも出してもらうのは忍びない
・買物できないのが困る
・趣味（ゲートボール等）に行くのに足が遠のく</td><td>（住）民</td><td>・路線バスを活用する
・助け合い、車の出し合い（出してくれた人にはガソリン代くらいお礼で出す）</td></tr>
<tr><td>社協</td><td></td></tr>
<tr><td>行政</td><td>・タクシーの補助</td></tr>
<tr><td rowspan="4">〇人とのつながりが厚い
・1 人では生きていけない
・もっといろいろな人に出てきてほしい、今のつながりをもっと拡げていきたい
・集まって笑いあうことができる</td><td>（住）民</td><td>・若い世代とつながる（若い人（子育て世代）にもう少し出てきてほしい）
・新しいものを受け入れる</td></tr>
<tr><td>社協</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">行政</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr></tr>
</table>

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 30 日（豊永第４　自治会）１グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な 集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
【良いところ】 ・近所付き合いがよい。（会うと挨拶やお話をする） ・人が良い。気が知れている。 ・地域の情報を共有している。 ・除雪体制がある。 ・環境、場所が良い（学校や公民館等に近い、避難所が近い）。歩いて行ける距離。 ・地域の見守りができてきた。 ・会話の機会が増えてきた。世代間の交流がある。（元気まつり（120 人参加）、サロン　交流がある。）	【継続していきたいこと】 ・元気まつり、サロン交流、世代間交流の場 ⇒理由：元気（体と心）で住み続けたいので。 災害対応に役立つので。	（住） 民	【継続】 ・足腰を鍛えて参加できるようにする。 ・参加の声をかけていく。若い人にも。 ・自分にできることをする。 【新規】 ・サロンの開催を、子供たちも参加できるような日程や内容を企画してみる。
		社 協	【継続】 ・サロン活動を見守ってくれること。 ・サロンに顔を出してほしい。
		行 政	【継続】 ・会場を無料で使えるようにしてほしい。
【気になっていること】 ・自治会の継承。（若手がいない） ・除雪体制の継続が心配。 ・住民が減ってきている。高齢化している。 （空き家が増えた。葬儀ができない心配） ・免許返納したら移動方法が充実してない。 ・一人世帯が増えてきた。 ・高齢になると家から出なくなってくる。	【新しいしくみづくり】 ・免許返納後の移動の確保 ⇒理由：通院、買い物の足が必要となるため。 引きこもらないで日常生活が送るため。	（住） 民	【継続】 ・体力づくり。（歩いて用を足せるため） 【新規】 ・買い物を代行する。
		社 協	【継続】 ・体力づくり企画 ・有償運送の拡大 【新規】 ・乗り合わせの移送サービス。
		行 政	【新規】 ・公共の巡回バス。

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 30 日（豊永第４　自治会）2 グループ

生活ニーズ	検討する項目	解決する方策	
○不安なこと ・健康づくりに気をつけたい ・あいさつが少ない ・コミュニケーションが少ない ・声かけのシステムが少ない ・集まりに参加しづらい ・民生委員の動きがわからない ・規則だらけでも住みづらい ・地域の集まりに 　出てきてくれない人がいる	○地域の集まりに 　出てきてくれない人がいる 　理由 　ひとりで何かあったときに 　助け合える関係性があると良い	（住） 民	・班で集まる機会をつくる ・サロン以外の見守り隊 ・わかりやすい回覧板 ・若者への声かけ
		社 協	町や社協の事業もひとつの きっかけとして活用する
		行 政	
○良いところ ・医者が多い ・地域に病院がある ・有償ボランティアがある 　→責任感がでる ・ごみ捨て（高齢者前日から出して良い） 　→自治会内 ・除雪隊がある	○除雪隊がある 　理由 　年配の方が担っているので 　どうにか継続する術を考えたい	（住） 民	・地域で参加しやすいきっかけづくり ・除雪隊参加の呼びかけ
		社 協	
		行 政	

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 30 日（豊永 4 自治会）　3 グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
【良いこと】 ○サロンに関すること ・サロンに参加する中で、自分の将来像が見えてくる（他の参加者を見て）。 ・集まることを楽しみにしている。 ・豊永第 4 サロンは 35 人位集まっている。 ・若い方が、年配の方を覚えることができる。顔見知りができる。 ・助け合い精神が芽生えている。 ○除雪サービス年間 3,000 円で行っている（自治会独自の取り組み） ○班の中で声かけできる取り組み（有志で行っている。） ○元気まつりの取り組み（子どもから高齢者まで参加している。） ○上記の取り組みにより、認知面が低下する前に関わりを持つことができる。とても大事だと思う。	○サロンに関すること ＊検討理由～隣近所の身近な人同士のつながりを持つために、これからも必要な取り組みだから！！	（住） 民	・住民同士の声のかけあい ・元気まつりからの発展（子どもから高齢者まで参加する場や機会が増える）
		社 協	・担い手さんのスキルアップ（リーダー研修のような取り組み）
		行 政	・金銭的な支援（運営費の補助など）

【不安なこと】 ○班が今後も成り立つか不安。 ○通院するときの「車いす」以外の手段。 ○気になる人の声かけ手段（システム）が不十分。 ○集まる場に参加する人がまだ少ない。 ○ゴミ分別を手伝いあえる仕組みが欲しい。 ○この先、誰が除雪してくれるか不安。 ○孫のことが心配。	○班が今後も成り立つか不安。 ＊検討理由～高齢化が進むと、できていたこともできなくなるかもしれない。防災のことなど、日々の見守り以外のことも心配である。	（住） 民	・幅広い層を対象とした自治会行事の継続。 ・自治会として班の組織をどうしていくか考えていく必要がある。
		社 協	・住民と横並びで活動する。
		行 政	・防災訓練の開催（今年度自治会へ働きかけたことが、仕組みづくりや住民同士のつながりのきっかけになった。） ・自治会機能の検証。 ・地域担当連絡員の自治会活動の参加。

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 30 日（豊永第 2・第 3　自治会）１グループ

生活ニーズ	検討する項目	解決する方策	
○不安なこと ・商店が少ない　・代替わり ・車に乗れなくなる・夜間タクシーがない ・地域で動ける人が少ない （葬式手伝いも含めて） ・子どもが近くにいない　・終活 ・町外に出ざるを得ない人もいる ・サービスを知る術がない ・除雪の担い手不足	○サービスを知る術がない 理由 サービスがあっても知らないという理由で 利用できていない物があるのでは 「くらしのガイド」など	（住） 民	・文書を読む努力をする ・自治会だよりでよりわかりやすく ・電話帳の横におく
		社 協	
		行 政	・広報にポイントで紹介コーナーを ・カラー印刷など見やすい工夫
○良いところ ・見守り活動がある ・ぽっとの取り組み ・立ち話ができる環境 ・老人クラブの活動 ・カケルくん（移動販売）の活用 ・トドック（配達）の活用 ・地元に病院がある ・訪問看護 ・身内が近くにいる ・ご近所の関係を大切に	○除雪が大変 除雪の担い手不足 理由 自治会でできている部分もあるが、人材不足 や高齢化など不安も大きい	（住） 民	・自治会で担当する ・自治会で除雪機を保有
		社 協	・ボランティアの仕組みづくり
		行 政	・除雪サービスの継続 ・除雪後の雪の置き場を考えてほしい

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 30 日（豊永第 2・第 3　自治会）2 グループ

<table>
<tr><th>生活ニーズ
この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！
津別町の良いところも！</th><th>検討する項目</th><th colspan="2">解決する方策</th></tr>
<tr><td rowspan="4">【良いところ】
◎第 3 は除雪機が 2 台で独居の支援
・第 2 は除雪機ある人が各自でﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ除雪
・自治会の皆さんが親切で住みやすい
・学生さんが皆挨拶をしてくれてうれしい
・６班では月 2 回、数人で卓球をしている
・巡回バスの計画はありがたい
・老人クラブ 17 人登録、活発で楽しい
・水がおいしい</td><td rowspan="3">①豊永第 3 自治会は除雪機 2 台で独居の支援
高齢者の家庭が増えていることで、困りごとの一つになっている除雪に対し各自治会で支援方法を決めている。第 3 は除雪担当者 2 人に対し、少しだが自治会費の中から手当を支給している。
現在も助かっている住民が多いし、今後も増えてくると思うのでこれからも必要と思う</td><td>（住）
民</td><td>・自治会で除雪機を購入する。
・除雪機を使う人も必要
・の人が支援する</td></tr>
<tr><td>社
協</td><td>人材センターで対応できるよう、人材センターの職員の増員</td></tr>
<tr><td>行
政</td><td>・自治会に除雪機を貸してくれる仕組み
・除雪の仕方⇒もう少しきれいに除雪するよう心掛けてもらう。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">【不安なところ】
◎町外病院への通院
・免許返納し運転できなくなったとき
・車のない人の外出時の移動手段
・北星記念病院が遠い
・地元で購入できるものが限られている
・空き家が多く、雑草が困る
・タクシーが 8:00～20:00 までで不便
・早朝や通夜の時の帰りﾀｸｼｰがない。
・警察に見回り頼んだが雑(車で 1 周)</td><td rowspan="3">②町外の病院への通院が心配
今は自家用車があるが、今後免許返納後の町外病院へ通っている場合は移動が一番心配。
家族がいないとか、家族にお願いできない場合もあるのでそれぞれが考えていかなくてはと思う
毎日ではないが、緊急時など夜間タクシーがないことで移動できない。</td><td>（住）
民</td><td>・可能なら通いやすい病院へ転院する</td></tr>
<tr><td>社
協</td><td>・福祉有償運送の利用条件の緩和
※利用の条件を緩和することは、現段階では法律違反になる恐れがある。</td></tr>
<tr><td>行
政</td><td>※行政への方策は出なかった</td></tr>
</table>

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 30 日（豊永第 2・第 3　自治会）3 グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策
○不安なこと・心配なこと ・災害の時に情報をどう受け取れるのか。 ・津別川の護岸が崩れて来ていて不安。 ・地盤が低く、大雨の時が不安。 ・小さなことを相談できる場があればいい。 ・医療施設が将来どうなるのか。 ・町内の介護施設の利用が、将来どうなるのか不安。 ・独居高齢者の除雪を自治会でしているが、する方も高齢化になっている。	○地域の中で買い物支援ができないか。 高齢で免許証返納すると、豊永から歩いていけない。生協の「カケルくん」が来ているが、必要な時には間に合わない。	住民） ・ボランティアによる運行ができないか （無償・有償など法的検討が必要）
		社協） ・利用者のマッチング
		町） ・巡回ワゴン車の運行
○良いところ ・人間関係が良いから住み続けている。 ・豊永第 3 自治会は、要援護者の避難計画を作っている。	○身近な福祉相談所の活動 ・豊永第 3 自治会は、身近な福祉相談所ぽっとを運営している。要援護者の見守り活動を通して、避難者名簿（緊急連絡先）等を作成している。 ・近所付き合いが薄くなってきている中、ぽっとの開設で、隣近所の動向（ゴミ出しが間違っているとか）がわかり話しやすくなった。訪問で家の中の様子もわかり、いざという時の対応が可能となっている。	

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 30 日（豊永第 2・第 3　自治会）4 グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な 集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
○不安なこと・心配なこと ・免許証の返納→歩いて出かけなくては ・健康でいないといけない ・買い物はお店で選びたい ・通院や買い物が心配 ・団地の人の入れ替わりでごみの分別ができない人が出てくる。 ・地域の協力がない（一部・班） ・一人暮らしが不安 ○良いところ ・運動したいと思ったら、すぐ近くでできる場所がある。 ・出かける機会が多い。 ・人・知り合いがいる→楽しい	○一人暮らしが不安 ・終活しておいたり健康でいないといけない。頼れる人が近くにいないが地域の協力があれば、ごみ・移動も助けてもらえるのではないか。 ・除雪体制はできている。地域の移動手段・・・乗り合いができないだろうか。	（住）民	・自治会で運動会（サロン）・卓球など行っていく。 ・地域（自治会）で頼れる人（相談）を作る。 ・“ぽっと”の定着と、そこに相談しようとなっていきたい。 ・声掛けが大事
		社協	・相談員の配置（終活・介護など）
		行政	・巡回バス（運行状況をみんなで確かめていこう）
	○人・知り合いがいて楽しい ・人が集まれる場所を残す(自治会運動会など)	（住）民	・第２・第４水曜日のぽっとの継続 ・年１回運動会の開催（１０年以上継続している） ・昔やっていたラジオ体操や盆踊りはできないか。 ・老人クラブは毎週木曜日と例会が毎月１５日なので集まろう。
		社協	声掛け
		行政	声掛け

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 31 日（緑町第 1・第 2・第 3　自治会）１グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！		検討する項目	解決する方策	
良いところ	・福祉の集いがある（達美と合同） ・年二回親睦会がある ・コープのかける君が便利であり、ちいさな集いの場になっている。 ・ぽっとの影響か避難訓練・行動がスムーズに行えた。 町営バスがある。 ・除雪のボランティアがある。 ・集いの中で除雪協力の呼びかけをしている。	・除雪のボランティアがある。 ・集いの中で除雪協力の呼びかけをしている。 理由：今できていることを継続したいため。さらに良くする方法はないか	住民	除雪のルールづくり。(若い人元気な人は自分で等)
			社協	細かいところ、綺麗にしたい人などは人活にお願いする。
			行政	除雪後に家の前に雪を置いていかない。
			他	部活動の体力づくりの一貫でボランティアしてもらう。
心配・不安なところ	・タクシーに乗りたくない。いじわる。 ・空き家が増えている。 ・空き家にスズメバチが発生する。 ・ゴミの分別ができない人がいる。特に転入者ができない。 ・自分で除雪ができなくなったら不安 ・団地・戸数が多く隣近所しか把握できない。自分の班しかわからない。自治会でわからない人がいる。一軒家でも。(引っ越してきたが自治会へ届け出がない)	・団地・戸数が多く隣近所しか把握できない。自分の班しかわからない。自治会でわからない人がいる。一軒家でも。(引っ越してきたが自治会へ届け出がない) 理由：自治会に届け出なく住んでいる人が不安。災害ゴミ出し等	住民	名前だけでも提供を...
			社協	
			行政	自治会加入についてのメリットデメリットをしっかり伝える。(自治会に入らないとゴミステーションが使えない、災害時など)

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 31 日（緑町第 1・第 2・第 3　自治会）2 グループ

生活ニーズ	検討する項目	解決する方策	
○不安なこと ・買い物する店が少ない ・若い人（多世代）との交流の機会が少ない。 ・町外病院への通院が大変。 ・定食屋がない。（夕食に出る場） ・どの程度介護サービスが使えるのか。 ・高齢者を支える若い人が減っていく不安。 ・老人クラブやサロンは参加者が固定している。 ・移動手段がなくなってしまう。	○移動の手段がなくなってしまう 理由 買い物や通院に困ってしまう 外出の楽しみも減ってしまうのでは	住民	・宅配サービスを利用する
		社協	・買い物ツアーの企画
		行政	・バスのステップを低くしてほしい ・巡回バス
○良いところ ・水がおいしい。 ・地震が少ない。 ・渋滞がない。 ・町や商店の職員と住民の距離が近い ・スポーツ施設が充実 ・家庭菜園がしやすい ・健康のためにみんな活動している	○健康で ぴんぴんころり 理由 人の世話にならずに生きていきたい	住民	・健診を受ける ・外に出てからだを動かす ・もう少し楽な運動サロン
		社協	・老人クラブ間の交流がもっとあれば
		行政	・訪問型の健診 ・みなし健診を増やす ・学校でゲートボールやパークゴルフの授業を取り入れる

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 10 月 31 日（緑町第 1・第 2・第 3　自治会）3 グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
○良いところ ・お店や役場が一か所に固まっている。 ・ハイヤーがある。 ・カケルくん、トドック来る。 ・水がいい。　・災害が少ない。 ・ぽっとができ、人とのつながりができた。 ・仲が良い。　・住みやすい。 ○不安なこと、心配なこと ・高齢化、人口の減少。 ・役員のなり手がいない、参加者の固定化が進んでいる、このような座談会に出てほしい。 ・病院への通院が大変、足の確保、免許返納の場合は足を考えなければいけない。 ・小児科など足りない科がある。 ・病院の存続が心配。	○病院の存続、足りない科があることについて ・人口推移・高齢化等から考えると病院は重要。 ・救急体制がないと心配。	住民	・救急車をすぐ呼ばない ・コンビニ受診を控える ・地元の病院が大事だということを皆で認識する。想いが大切。
		社協	・受診介助も含めヘルパーさんは貴重な存在。大切にしていく。
		行政	・病院維持のための継続支援 ・病気の早期発見（保健師などによる訪問）
	○災害が少ないが備えが必要 ・ぽっとから人とのつながりができてきたので、また次につながっていくことが必要。 ・次のためにどうしていくか検討が必要。	住民	・地域の担い手の後継者・予備軍を増やす。　・ヒトづくり ・(座談会等このような集まりに)出慣れる（少人数の座談会の方が参加しやすい、話しやすい）
		社協	気楽に相談できる体制づくりを。
		行政	・相談できる雰囲気づくりを。

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 11 月 1 日（旭町第 1・第 2・第 3　自治会）1 グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！		検討する項目	解決する方策	
良いところ	・人付き合いがいい。 ・水道水がおいしい。 ・福祉寮はいい。 ・巡回バスで買い物ばできればいい。	○買い物支援 ・商工会を中心に仕組みを作る。 ・グリーンマートは電話で頼めば持ってきて来るので、拡大してほしい。	住民	積極的に利用する
			社協	（商工会）各商店を取りまとめて仕組みをつくる
			行政	ガソリン代等を助成する
心配・不安なところ	・車の運転ができなくなること ・今後の医療が心配 ・スーパーがなくなるのが心配 ・町民に対して必要なものを作ってほしい	・町の中に何か所か集えるところがあるといい ・ジンバの雰囲気がいい 各地域にあることで、外出のきっかけになる。	住民	
			社協	
			行政	

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 11 月 1 日（旭町第 1・第 2・第 3　自治会）2 グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
○良いところ ・子ども食堂を長くやってほしい、楽しい。（集える場があると良い） ・病院や郵便局、お店が近い、子育てに便利 ・水が良い　・近所の人が来てくれる、近所の人の顔がわかる。　・建物密集して。 ・セイコーマート前の横断歩道を渡るとき、信号を青にせず渡っている人がいて怖い。 ・水が良い　・クラブのカラオケが楽しい。 ○不安なこと、心配なこと ・役場や社協まで行く足がない。 ・子どもが町外に出てしまい遠い。 ・役場職員に優しくしてほしい。 ・クラブのカラオケの器械が壊れており、早く新しいものを入れてほしい。 ・一人暮らしなので何かあったとき心配。 ・近所の人が顔を見せないようになると不安。 ・足が痛いときに気軽に椅子を貸してほしい。 ・一人がいろいろな役員を兼務している。	○セイコーマート前の横断歩道を渡るとき、信号を青にせず渡っている人がいて怖い ・旭町は子供が多く注意が必要 ・セコマは 23 時までやっているので便利 ・歩く方（住民）も横断歩道をきちんと渡るなど、考える必要がある。	住民	・車道ではなく横断歩道を渡る ・規則を守って気をつけて渡る ・子供に挨拶する
		社協	
		行政	・反射板を支給してほしい ・信号機を増やしてほしい
	○子ども食堂を長くやってほしい（集える場があると良い） ・いろいろな世代が行けることが良い。 ・安くてうまい。 ・長く続けて行ってほしい。 ・旭町は近い。皆で食べれる。 ・いろいろな人に会うことができる。	住民	・利用を続ける ・食事の寄付
		社協	・農園で余った大根を寄付
		行政	・経営がマイナスであれば支援をする

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 11 月 1 日（旭町第 1・第 2・第 3　自治会）3 グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
【不安なところ】 **・買い物難民** ・役場で草刈りするところが決まっている ・草取り…隣近所の住民がしてくれない ・自治会の集まりに参加しない ・回覧板が遅い ・空き家、家財入ったままの空き家。 ・除雪サービス 1 人で 4 件辛い（第 3） ・サロンの人員が固定している（第 3）	**◎買い物難民** 自分で買い物したい場所に、いつまで行けるだろう？	住民	・歩けるための健康つくり ・自分でできる事を続ける(除雪草刈り) ・家族に頼む・買ったものの配達
		社協	・生活支援サポーターの情報を発信 ・サポーターの増員 ・電動四輪の貸し出し
		行政	・電動四輪を使える仕組み作り ・巡回バスの利用の仕組み
【良いところ】 **・自治会で見守り出来ている（第 3）** ・コープのカケル君がある ・自治会での焼肉 25 人集まる（第 2） ・第 3　新年会 90 人集まる ・まちなか団地は温かい ・第 3　独居宅 4 人で除雪サービス ・空き家バンクに登録している	**◎自治会で見守りできている（第 3）** ・自治会によってばらつきはあるが、団地は顔見知りになる機会がない。 ・見守り出来る仕組みつくり ⇒自治会か？行政か？ ★団地を抱えている自治会は難しい	住民	・顔見知りになり声を掛け合う ・次の世代の人に手伝ってもらう (実際に行っている)
		社協	・絵手紙の活動 ・ポットの活動
		行政	・外側から団地の人と接する仕組みが欲しい(例えば防災訓練とか)

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 11 月 1 日（旭町第 1・第 2・第 3　自治会）4 グループ

<table>
<tr><th>生活ニーズ
この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！
津別町の良いところも！</th><th>検討する項目</th><th colspan="2">解決する方策</th></tr>
<tr><td rowspan="4">≪不安なこと≫
・公住の方のゴミ出しが悪い　・地域の集まり悪い（特に公住）　・病院将来無くなったら不安
・買い物（介護用品は町外へ）　・食料難民にならないように商業施設で考えてほしい
・免許がなくなったら大変
・美容室も残ってほしい
・バス券が足りなく病院に行く費用かかる
・子どもの所に行かなければ行けなくなる
・なるようにしかならない
・町外にしか売っていない物がある</td><td rowspan="3">・買い物（介護用品は町外へ）
・食料難民にならないように商業施設で考えてほしい
・免許がなくなったら大変　・美容室も残ってほしい
・町外にしか売っていない物がある

生きていく上で第 1 に考えないといけない。</td><td>住民</td><td>・かけるくんの利用
・みんなでバスも利用しよう
（足の確保のために）</td></tr>
<tr><td>社協</td><td></td></tr>
<tr><td>行政</td><td>・国・道が過疎地に対してしっかり支援を
・店が無くならないよう町は考えてほしい　・買い物のためにタクシー券を　・病院充実のために町はもっと補助を　・タクシー券の補助　・バスのステップを低く</td></tr>
<tr><td rowspan="4">≪良いところ≫
・コープ、トドック、かけるくんが来てくれる
・除雪早い　・災害少ない　・「ゴミ捨て」地域で見守っている　・声掛けして自治会新年会集まり多い（旭町第 3）　・水美味しい　・見守り地域ができている（サロン、ぽっと）　・近所とのコミュニケーションとれている</td><td rowspan="4">・見守り地域ができている（サロン、ぽっと）
・近所とのコミュニケーションとれている

地域の声掛けは必要。将来的に続けられること</td><td>住民</td><td>・集まる場を作る・声掛けしましょう
・若い人への声掛け・将来の担い手</td></tr>
<tr><td rowspan="2">社協</td><td rowspan="2">・ぽっとの活動を広げる
・サロンの合同開催（近くで一緒に）

・話をして直ぐ動いてくれる→町と社協で進める。</td></tr>
<tr><td>行政</td></tr>
</table>

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 11 月 18 日（共和第 2・第 3・第 4　自治会）1 グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
≪不安なこと、心配なこと≫ 〇津別病院の存続 〇災害のときのこと ・頼む人がほとんどお年寄りになっている（若い人に出てきてほしい） ・連絡者が 28 人必要だが、いない ・支える人がどのくらいいるか？ 〇皆で集う会館は国道をまたがなければいけない→集う場所の再検討（空き家ならある） 〇運動サロンの 1 回 500 円は高い、やっていることがハード 〇トレーニングセンターを使いやすくしてほしい 〇津別高校の存続 ≪良いところ、良いしくみ≫ 〇福祉有償運送ができた 〇共和第 2 にサロンができた 〇津別病院が看取りや訪問診療をしてくれる	〇津別病院の存続について ・ないと困る ・国の政策が在宅に向かっていっている中、訪問診療や訪問看護は続けていってほしい	住民	・若い人に出てきてほしい ・津別病院の維持のためにも健康でいることが大切 ・健康づくりのためにもサロンは大切
		社協	・通院のために、福祉有償運送の継続が大切
		行政	・津別病院の分析が必要 ・外国人労働者など職員体制の維持 ・予防医療を拡める ・患者輸送の無料バスの検討
	〇福祉有償運送ができた ・年金生活者や低所得者が多い中、経済的にも助かる ・利用条件をより緩和すると便利になる	住民	・免許返納した車の返納
		社協	・運転手の人材育成・確保 ・運転手の報酬を高くしてあげてほしい
		行政	・タクシーの助成金検討 ・巡回バスの継続

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 11 月 18 日（共和第 2・第 3・第 4　自治会）2 グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
≪不安なこと・心配なこと≫ 〇コミュニケーション関係 ・高齢化が進んでる。・一人暮らしが進んでる。 ・サロンの人が集まらない。 →人がいっぱい集まる場所になって欲しい ・ひきこもりの人や手のかかる人への対応（災害時） 〇交通関係 ・車に乗れない人が増えている（免許返納・足腰の弱り等の理由） ・買い物・病院への交通手段（足がないと行けない） ・バス・タクシーしかないけど、利用するのが不便 ・コミュニティバスってどうなんだろう？ →利用のしやすさ、利用方法 〇環境関係 ・買い物・病院環境の存続が不安 →病院の利用率が低いけど、存続できるのか 病院は残っててほしい！ ≪良いところ・しくみ≫ 〇コミュニケーション関係 ・役員会を年に何回もする →情報共有の場がたくさんある	≪一人暮らしの人がいきいきと暮らすしくみ≫ ①　コミュニケーションの取れる場を整えたい ～選んだ理由～ 〇いずれ自分も一人暮らしになるので、それでもいきいきと元気で暮らせる地域になって欲しいから 〇一人で孤独にならないようにしたい	住民	〈継続〉 ・声を掛け合う関係性の継続 ・サロンの継続 ・認知症にならない ・心身の健康を維持 〈しくみ作り〉 ・定期的な訪問をするしくみを検討 〈改良〉 ・自治会の行事として訪問活動をしてみる
		社協	〈維持・改良〉 ・心身の健康の維持するために、各種行事、運動等の維持・改良 ・サロンの支援
		行政	・サロンの開催場所の変更について検討 →サロンの会場が交通の多い道路を横断する必要があるため、足の悪い人でも気負いなく参加できる場所を確保して欲しい
	②　足の確保 ～選んだ理由～ 〇病院・買い物といった生活に必要なことを継続していくために、足（車・バス・タクシー	住民	〈継続〉 ・隣近所の人が声を掛け合って、送迎をする 〈しくみ作り〉 ・お寺や各種行事への参加ができるように、手助けがしやすいしくみ作り

・声を掛け合える関係性ができている ・若い人も高齢の人も関係なく挨拶ができる ・行事を通して、顔を合わせる機会がたくさんある ・持ち家の人や昔から住んでいる人も多い地区なので「顔見知り」の関係を形成できている →気軽に声をかけやすい ・防災活動もしっかりしている →一人暮らしの人を把握し、いざという時への備えができている ・サロンを立ち挙げた！（共和第２） 〇環境関係 ・津別病院があってよかった →専門性はなくても、あるだけで充分助かる ・コープの移動販売が利用できる	等）の確保が必要だと思うから	社協	〈継続〉 ・福祉有償運送の継続
		行政	〈しくみ作り〉 ・利用しやすいコミュニティバスの充実 ・お通夜に行けるような足の確保 〈改良〉 ・バスの待ち時間を工夫できる取り組み →図書館をバスターミナル近くへ建設し、待ち時間に利用するなど

地域福祉計画・地域福祉実践計画　自治会座談会

令和元年 11 月 18 日（共和第 2・第 3・第 4　自治会）3 グループ

生活ニーズ この町で、暮らし続けていくために必要な集まりやサービスを出しあおう！ 津別町の良いところも！	検討する項目	解決する方策	
【不安なところ】 ◎**返納後の町外通院が心配** ・車がなくバスで通院している。 ・巡回ワゴンはよくわからない。 ・タクシー20 時終了で夜間やっていない。 ・バス券が足りない、枚数増の希望。 ・夫が使わないバス券がもったいない。 ・自治会での行事送迎時の事故が心配。 ・制度はあるが相談場所がわからない。 ・役場は、いよいよになって相談する場所 【良いところ】 ◎**生活支援サポーターはいい制度** ・巡回ワゴンはいいと思う ・商業施設に期待している（便利） ・行事の際高齢者の送迎を行っている ・ニコット(ツルハ)ができると便利 ・(共和第 2) サロンを開所した	【不安なところ】 ①免許返納後の町外(町内)への通院が心配。 現在は運転免許あるが 5 年後はわからない。 返納後の町外への受診・通院が心配。	（住）民	・実際に巡回ワゴンに乗ってみる。
		社協	・福祉有償運送の利用条件の改正。 ・自治会の集まり、事前人数把握で利用できるといい→訪問 D みたいなもの。
		行政	・巡回ワゴンの本数を増やす。 ・バス券を増やす。 ・世帯(夫婦)で使えるバス券。
	【いいとこと】 ②生活支援ｻﾎﾟｰﾀｰ制度はなくしてはダメ 制度はいいと思うが、使える幅が狭い。 今後もっと高齢者が増えるので、利用できる幅の問題	（住）民	・自治会の隣近所の支援を考えていく。
		社協	・対象を緩くしてほしい。 ・使いやすくしたらいい。 ・老人クラブの会場に掲示する。
		行政	・いいことだが知らない人が多い。 ・社協も含め町民が使いやすいように。周知する。